

## 令和4年度第12回(第240回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和5年2月21日午後1時30分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 303会議室
3. 出席委員 教育長 野津 浩一  
教育委員 山下 豊範  
教育委員 常角 敏  
教育委員 谷田 一子  
教育委員 藤野 雅栄
4. 欠席委員 なし
5. その他の出席者 総務学校教育課長 吉田 隆  
社会教育課長 中村 恒一  
中央公民館長 金坂 賢一  
総務学校教育課長補佐 藤田 志生
6. 開会宣言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。  
－報告要旨－
  - 2月4日の布施立志式について、半世紀にかけて継続して実施しており、あらためて感心させられた。今年度の対象者は1名であったが、令和5年度は3名の予定となっている。
  - 2月15日のICTを活用した授業公開・ICTの校務利用に向けた研修会については、詳細は後ほど、総務学校教育課長から説明される。
  - 2月16日、学校保健連絡協議会研修会では、西郷南中学校が2年かけて研究した性教育についての報告があった。子どもたちが自分の体をどう大切に育てていくかを主眼に置いた、多様性のなかで性をどのように伝えていくかなど、非常にデリケートな問題を学校現場では慎重に深く研究しながら対応していることをあらためて感じた。全国的には、11人に1人が性に対し、違和感を持っている人がいると言われており、学校現場にもそういう児童生徒がいる可能性があるため、今後どう対応するか考えていく必要がある。
8. 議 事
  - 【議第1号】 令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算(第7号)について
    - 議第1号の「令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算(第7号)について」、事務局職員の

説明の後、審議を求めた。

－説明要旨－

(総務学校教育課長) 令和4年度一般補正予算について、3月開催予定の議会定例会に上程するものであり、議案と議案資料により説明。

県立高校施設整備事業の補正は、令和5年4月から運用開始を予定している離島留学生共同下宿事業において、利用予定施設内の利便性の向上を図るため、食堂・厨房・舎監室の改修が必要となり、増額補正するもの。中学校一般管理運営事業の補正は、昨今の各種価格高騰で電気代等の光熱水費及び燃料費の不足が見込まれるため、増額補正するもの。

(社会教育課長) 青少年育成支援事業の補正は、がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金について実績見込みにより、予算の不足が予想されるため、増額補正するもの。

－質疑応答－

(常角教育委員) 中学校一般管理費における光熱水費等の増額補正について、価格高騰という理由であれば小学校一般管理費には不足は生じないか。

(吉田総務学校教育課長) 価格高騰のみでなく、実績見込みを算定する計算方法によって、小学校費に比べ中学校費では適当な金額が算出されていなかったのも一つの要因。今後、改善を図りたい。

－審議結果－

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について、原案のとおり議決した。

【議第2号】 令和5年度隠岐の島町一般会計当初予算について

○ 議第2号の「令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算(第7号)について」、事務局職員の説明の後、審議を求めた。

－説明要旨－

(総務学校教育課長、社会教育課長、中央公民館長) 当初予算説明資料及び議案資料により、それぞれが担当する令和5年度当初予算について、主に新たな事業の説明をおこなった。

休憩(14:40～14:45)

－質疑応答－

(谷田教育委員) 資料7P91、GIGA スクール運営ディレクター業務委託料に関連し、海士町スタートで島前地域に広がっている島留学が本町にも繋がっていくと聞いたことがあるが、協議がされているか。

(吉田総務学校教育課長) ICT の活用について、学校現場では島前地域と連携を取っているが、質問の内容については把握していない。情報交換は行っているので、将来、そのようになることも想定はされる。

(谷田教育委員) そういうことになれば良い事だと思っている。本町には高校卒業後の学校はないので、高校生より少し上の世代が入り、関わるができることは魅力的。また、関係人口の創出にも可能性があり期待したい。

(常角教育委員) 資料 P5、授業づくり研究会事業について、事業目的において「ICT 利活用の目的は“ただ使うこと”ではなく、“子どもの学びを深める”との記述に関し、大いに共感する。ICT はあくまでも手段であり、教育の本来の目的というところを、ICT があるために教員が迷うようであれば困ることになる。指導主事等により様子を見ていく必要がある。

- (谷田教育委員) 資料7P92、特別支援教育事業について、ルールの見直しをする必要があるとの説明があったが、大切なことであると認識。支援員の配置により、担任としても、学校としても、上手くはまれば、連携・相談などが充実され、教育効果が非常に高くなる。一方で、配置することが目的となり、上手く支援が図れない場合もある。今一度、支援員の在り方を検討してもらえると良いし、引き続きそのための予算を確保していくと良い。
- (吉田総務学校教育課長) いろいろなケースがあるので、子どもの成長等を見極めて適切な配置に努めたい。
- (山下教育委員) 資料 P5、授業づくり研究会事業について、研究会実施業務委託費が高額であるが説明をお願いしたい。
- (吉田総務学校教育課長) 講師旅費や謝金を算定根拠とした業務委託料であり、ある大企業に委託し、年6回の講師派遣により事業を行うもの。
- (山下教育委員) 実施してみないと分からないことではあるが、費用対効果について、どう考えているか。
- (野津教育長) ICTの利活用について、これまでの経験が乏しいなかで、どうすればICTの授業力の向上が図れるのかという悩みが多い。担当者としては大企業に委ねるしかない判断したが、大企業ゆえに思ったより高額となった。十分な費用対効果が生まれるように事業を推進していきたい。
- (藤野教育委員) 資料7P92、特別支援教育事業において、年度途中で支援員が必要となった場合の予算措置について説明をお願いしたい。
- (吉田総務学校教育課長) 現状の必要数を要求したが、減額査定され枠内で検討するように指示されている。まずは、指示に従い工夫して運用するが、どうしても必要となった場合は、補正予算での措置をお願いすることとなる。
- (野津教育長) 支援員について、1対1が基本ではあるが、クラス内に対象が2人いれば、支援員が兼務することも可能な場合もある。一方で、支援員のサポートがあることで、担任教員の指導力が育たないケースもある。また、学校規模の大小もあるなど、いろいろなケースに応じて慎重な検討と工夫が必要と考えている。
- (藤野教育委員) 資料7P93、中学校体育館無線 LAN 整備について、防災拠点としての説明もあったが、教育費として予算措置することについて説明をお願いしたい。
- (吉田総務学校教育課長) 防災拠点であれば、危機管理室が担当であるため協議した。学校行事や授業で活用され、また財源のこともあり、教育費で措置することとした。
- (常角教育委員) 資料7P94、離島留学生共同下宿運営について、前回会議では舎監業務に関し、該当の隠岐水産高校と町の考えに差があるとの説明があったが、その後の協議内容について説明をお願いしたい。
- (吉田総務学校教育課長) 業務時間等に差があるが、引き続き協議中であり、次回にお知らせしたい。
- (山下教育委員) 同じく離島留学生共同下宿運営について、利用終了後に施設改修したものを原状回復する必要があるか。
- (吉田総務学校教育課長) 原状回復は行わず、改修後の状態で施設運営を行ってもらう予定。
- (常角教育委員) 資料7P101、ふるさと教育推進事業における、小中学校活動費の内訳の説明をお願いしたい。
- (中村社会教育課長) 活動における消耗品費が大半であり、その他に講師謝金、手数料、借り上げ

料となっている。

(常角教育委員) 資料7P103、布施公民館管理運営事務について、中村地区の各分館への支援が必要との説明があったが、具体的な内容の説明をお願いします。

(金坂中央公民館長) 講座を紹介すること、新たに配置する中村地区担当の職員と分館の方が会う機会を作り、地域の方の要望を聞くことなどから取組みたい。

(山下教育委員) 資料7P107、八角部屋の隠岐合宿は予定通り行われるか。また、予定通りであるならば隠岐の海関の引退を受けて特別な企画が考えられるか。

(中村社会教育課長) 隠岐の海関の引退に関わらず、10回を目途に開催するという当初の予定通り、今年が10回目の最後の合宿を開催予定。引退に係る特別企画を検討するべきとは考えている。

(常角教育委員) 資料7P107、国民スポーツ大会開催地準備事業に関し、会場は決定されているか。

(中村社会教育課長) 土俵は総合体育館アリーナに特設し、その他、総合グラウンド、体育館駐車場、文化会館駐車場などを使用し練習場や控室等を配置するなど大規模なものとなる予定。

(藤野教育委員) 資料7P106、文化財保存継承事業の予算ということではないが、玉若酢命神社や国分寺などに整備されているトイレが非常に汚く、管理担当の商工観光課には幾度か要望している。文化財保護・利用の観点から整備されたものでもあると思うので、商工観光課と連携して快適なトイレとなるよう取り組んでほしい。

(中村社会教育課長) 意見を商工観光課に伝え、今後検討する。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第2号について、原案のとおり議決した。

### 【議第3号】 隠岐の島町社会教育基本計画について

○ 議第3号の「隠岐の島町社会教育基本計画について」、事務局職員の説明の後、審議を求めた。

－ 説明要旨 －

(社会教育課長) 昨年10月の教育委員会会議に計画(案)を説明させていただき、その後にパブリックコメントにより2名の方から12件の意見があった。昨年10月配布分から7箇所程度の軽微な修正となっている。以下、資料に基づき説明。

－ 質疑応答 －

(常角教育委員) 資料P10、社会教育プロジェクトにある7つのプロジェクトを「人権尊重」が下支えているというこの図式が最も重要な事項であると思う。学校経営も同様で、人権を基盤にした学校経営となる。理解するまでには時間を要するが、理解されれば、学級経営、学校経営さらに社会教育も良くなっていく。社会教育が功を奏した例として、(常角委員持参の)「人権学習は人生を豊かにする学習」資料を基に説明。

(藤野教育委員) 性に関して多様性を認め合うような社会にするにはどうすれば良いのか、非常に難しい。議論ができる機会が必要と考える。また、人権意識は変化していくことであり、常に学びは大事と考える。ブラック企業やブラックバイトなどの事例から見ると、教育のなかで人権や労働者の権利を学んでこなかったように思う。

(中村社会教育課長) 昨年に受けた研修会において、性同一性障がいの当事者の方からのお話を

聞くことができた。そのような方に実際のお話を聞ける機会が今までは多くなかったので、今後の人権教育においてそのような機会を増やしていくことも視野に入れていきたい。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第2号について、原案のとおり議決した。

9. そ の 他

【令和4年度第13回教育委員会の開催日時について】

○ 令和4年度第13回、3月の教育委員会の会議については、3月24日金曜日、午前9時30分から隠岐の島町役場会議室で開催することとした。

【議事録の確認について】

○ 令和4年度第10回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和5年2月21日 午後3時40分

12. 会 議 録 作 成 者 総務係 藤田志生

署名日 令和 5年 3 月 24 日

隠岐の島町教育委員会 教育長

野津浩一